

授業科目名	【G】 アクティブ・ラーニング演習(導入編)	区分 選択	開講年次	【G】1	単位数	【G】2		
科目区分	基本科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	メディアの特性を理解し、情報を活かそう			担当者	保科 俊			
授業概要	【概要】	本講義では、様々なメディアを利用し、一つのテーマを設定し情報収集を行っていきます。テーマについては興味のある話題から時事問題等幅広く設定できます。テーマによってはファクトチェックを行うこともあります。また授業内では、毎週一つニュースや情報を持ち寄り、そのニュースは何がわかり何がわからないのか、どの点を活かすことができるのか確認議論を行う予定です。						
	【到達目標】	本講義では、新聞からインターネットまで様々な情報の特性を理解し、その上で主体的に情報収集を行い諸活動に活かすことを目的としています。						
履修条件	特になし							
アクティブラーニングの方法	【○】	事前学習型	【-】	反転授業	【○】	調査学習	【○】	フィールドワーク
	【-】	双方向アンケート	【-】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【-】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【-】	模擬授業	【-】	PBL	【○】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との関連性	特に情報系・社会学系に関わる科目							
教科書	基本的に配付資料を使用します。							
参考書	<p>参考にいくつか記しておきます。</p> <p>藤竹暁、竹下俊郎(2018)図説日本のメディア [新版]—伝統メディアはネットでどう変わるか、NHKブックス。</p> <p>立岩陽一郎、楊井人文(2018)ファクトチェックとは何か、岩波ブックレット。</p> <p>笹原和俊(2018)フェイクニュースを科学する 拡散するデマ、陰謀論、プロパガンダのしくみ、化学同人。</p> <p>三上俊治(2005)社会情報学への招待、学文社。</p> <p>辻大介、是永論、関谷直也(2014)コミュニケーション論をつかむ、有斐閣。</p>							
評価方法	基本的に加算方式とします。コメントレポート等の提出(30%)、プレゼンテーション(30%)、最終課題提出(40%)を中心に評価する。							
フィードバック方法	提出された課題等の解説を最終的に行う。内容によっては全員あてのメール等等を使い情報共有する場合もある。							
評価基準	上記授業内容について、よく理解し、適切に課題を完成させた者には「S」または「A」、理解してはいるが、一部理解が不十分な箇所がある者については、その程度に応じて「B」または「C」とします。授業内容の理解自体が不十分な者については、その程度に応じて「D」または「E」とします。課題テスト発表を一度も行わなかった者については「F」とします。							

授業科目名	【G】 アクティブ・ラーニング演習（導入編）	区分		開講年次	【G】1	単位数	【G】2
		選択					
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス及び全体概要						
	予習:	普段使う情報収集ツールを確認しておく	復習:	普段使う情報収集ツールを確認しておく			
2	テーマ設定						
	予習:	テーマを考えておく	復習:	テーマに関連する入手済情報を整理する			
3	情報収集の方法						
	予習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく	復習:	使用していないツールを試してみる			
4	インターネット時代のメディア、マス・メディアについて						
	予習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく	復習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく			
5	インターネット時代のメディア(特にSNS・スマートフォンアプリ等について)						
	予習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく	復習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく			
6	ニュースを比較する						
	予習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく	復習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく			
7	誤報・フェイクニュース・デマ・うわさ流言について						
	予習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく	復習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく			
8	マス・メディア、マス・コミの問題点について(特に読み手側の注意点について学ぶ。ここまで収集した資料を見ながら)						
	予習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく	復習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく			
9	情報ニュースを読む人間の心理的側面について学ぶ						
	予習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく	復習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく			
10	ファクトチェック、調査報道について						
	予習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく	復習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく			
11	発表日（テーマに沿った情報収集等に関する発表を行う）						
	予習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく	復習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく			
12	準備・復習日						
	予習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく	復習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく			
13	発表日（テーマに沿った情報収集等に関する発表を行う）						
	予習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく	復習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく			
14	発表日（テーマに沿った情報収集等に関する発表を行う）						
	予習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく	復習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく			
15	総括と学習到達確認テスト						
	予習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく	復習:	ニュースを見るor読む。気になったニュースを保存しておく			
その他	<p>私たちが当然のように毎日見ているテレビやニュースアプリ、それぞれの特徴や歴史を説明できますか？メディアがどのようなものなのかを実証的に理解すれば様々な場所で役立ちます。まじめに楽しく授業ができればと考えています。</p> <p>授業ごとの予習・復習時間は、各120分程度を目安としてください。</p>						